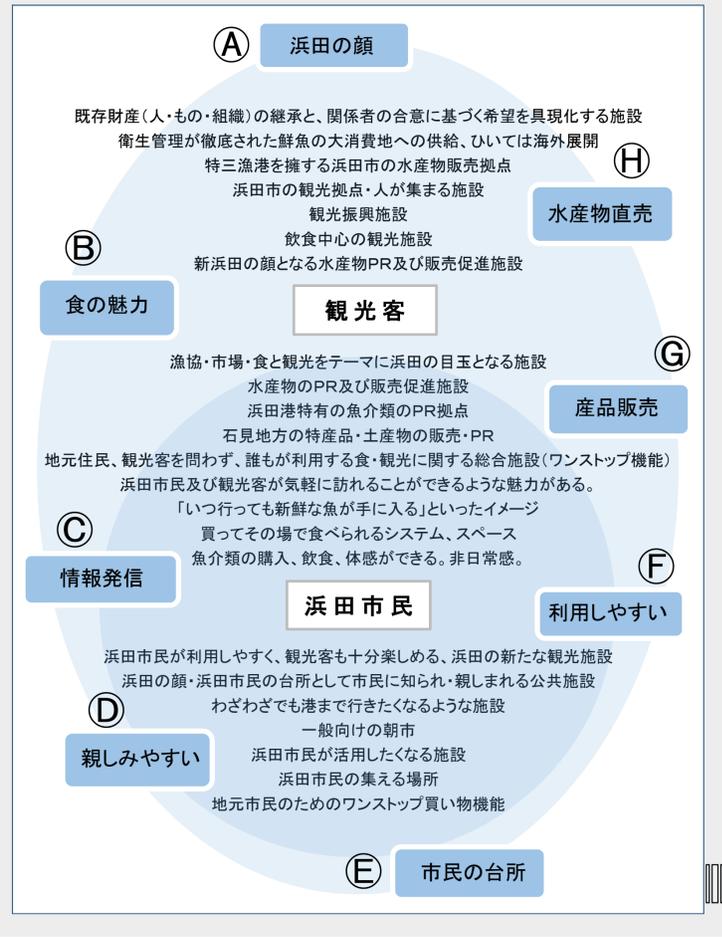


■新施設に期待する役割と施設機能について[要約]

(1)新施設にはどういった役割を期待しますか？

①浜田市民・観光客が訪れる集客施設

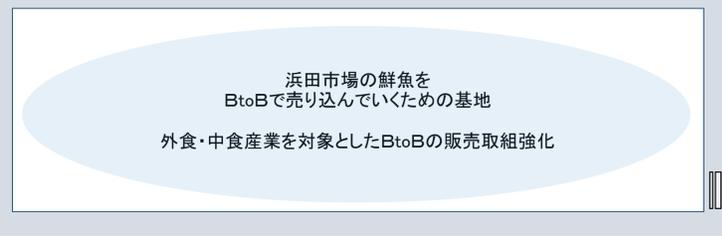


(2)(1)の役割を果たすためにはどういった施設機能(ハード・ソフト両面)が必要ですか？

ソフト機能	役割	
水産物の販売		
仲買による魚介類の一般向け販売(鮮度良いものを安価で。希少なものを。)	E	H
水産物だけでなく、野菜・花・肉・弁当・土産物など幅広く提供	E	G
入居店舗は農産物も良しとする。	E	G
水産物は鮮魚中心	E	H
水産高校生考案商品の販売	B	H
浜田のブランド「どんちっち」を安価で提供する。	E	H
日々のおかずとして下処理された魚を買うことができる。	E	H
商品の価格を安くする。	E	H
浜田に来られた方のお土産用、贈答用の魚が購入できる。	G	H
セリで見た魚をセンターで食べられ、持ち帰ることも可能	B	E
おいしい食べ方、魚の見分け方などを教えていただける地元の人	D	H
イベントの開催		
料理教室	B	D
魚の料理教室	B	D
セリ体験	D	H
セリ体験等の楽しいイベント	D	H
市民向けセリの開催(魚介類だけでなく、農産物などの総合販売)	D	H
魚の解体ショーの開催	D	H
週末にイベントを開催(朝市など(魚以外も))	G	H
週1日か2日のマルシェ	G	H
市価より安価な新鮮な農産物、加工品、工芸品等持ち寄り即売を行う「地元食材フェスタ」開催。	G	H
どんちっちアジ祭りの開催	A	H
目玉となる企画を実施(魚を捌いてあげる、水産高校の実習製品の販売、魚料理の実践)	A	H
子ども達をまきこんだ海のイベント	A	D
漁港(セリ)ツアー	D	H
石見神楽の上演(月2回など)	C	D
ランバイク	A	D
行ったら何かしている	A	D
その他		
アクアスとの連携	A	C
石見ケーブル「スタジオ103」で常にPR	C	F
施設整備のために作成した既存計画等を横断した評価検証を行うこと。	F	
市内マーケットと消費者を対象とした意識調査	F	
集客する仕組みづくりとして、バスやJRなどの交通機関との連携	F	
浜田が水産都市であることと、関係者の実情と描く夢を、身近に強烈に訴える番組づくり。	A	C

ハード機能	役割	
物販スペース		
水産関連商品だけでなく、農産物・民芸品等浜田の特色ある産品を広く提供する販売スペース	E	G
農林水産物コーナー(直販)	E	G
干物店は既存スペースで営業	E	H
石見地方特産品販売コーナー	E	G
土産物の販売スペース	G	H
水産高校の生徒さんのコーナー	C	H
施設は一階に全てを揃える。	E	F
常設の店舗は無理		
魚本来の色が見られるよう自然光を取り入れた通路・仲買人市場	E	H
飲食スペース		
1階に飲食スペース	B	F
フードコート	B	F
イートインスペース(くつろぎのスペース含む)	B	F
飲食店(魚にこだわる。海鮮井など)	A	B
網焼き(浜焼き・炭火焼き)コーナー	B	D
浜焼き	B	D
フードコートコーナーの充実	B	F
鮮魚を中心とした多様なメニューを提供する事業者で構成されたフードコート	B	F
生け簀に泳いでいる魚がその場で食べられる。	A	B
炭火焼きスタイルで貝類、甲殻類、干物などをお客さん自ら焼いて食べるフードコーナー	B	D
赤天や干物などを焼いて食べられる。	B	D
魚・寿司・干物関係が簡単に食べられる飲食店	B	F
炉端焼き	B	D
寿し屋さん	A	B
複数の飲食店の入るフードコート	B	F
市場のものを買って自分で調理して食べられる場所	B	D
体験・実習スペース		
気軽に使える調理室	D	F
料理教室を行う調理室	D	F
プチ水族館(子どもが遊べる空間、魚に触れ合う場所の提供)	A	D
魚介類に触れることができるコーナー	A	D
風呂・足湯	A	D
その他		
浜田港特有の魚介類PRコーナー	A	D
食・観光に関する情報等を一元的に集約し、案内する機能を付与	C	F
観光案内スペース	C	F
石見神楽ビデオの館内放映	C	D
観光船の案内所の設置(浜田港周辺海域を航海できる観光船)	A	D
遊覧船(海と浜田の歴史を知り、海からの景色を眺める)	A	D
2階はイベント開催スペースとして活用	A	D
イベント会場(様々な催しを集約して行う)	A	D
浜田駅から施設までの送迎をする。	F	
買い物客がまとまればそこまで行き、送迎する。	F	
市内循環シャトルバスの発着	F	
余裕ある駐車場	F	
Wi-Fiの整備	F	
高齢者向けのゆとりスペース	D	F
身障者トイレの設置。人にやさしく、清潔なトイレの設置	D	F
バリアフリー(誰でもトイレ機能の充実)	D	F
借景(ロケーション)で、見栄えのするゾーニング	A	D
平屋を主体とする(全部1階で完結)。2階は休憩スペースや事務所など。	F	
軒が外に向けて広い方がよい。(雨天でも対応可能)	F	
仲買棟西側に仲買売場を集中。東側に商業店舗(駐車場スペースの有効活用。)	F	H
店舗を追加できるような機能(テント)	F	H
山陰浜田港をアピールするモニュメント	A	D
漁法と魚種を理解してもらえる模型	D	H
HACCPの推進	H	

②仲卸機能に特化した施設



ハード機能
HACCPに準じた一次加工処理施設
出荷用梱包施設
活魚用施設
冷蔵施設
冷凍施設
商談室
調理室

■新施設に期待する役割と施設機能について[要約]

(3) その他、新施設に対するご意見があれば記入ください。

現場の鮮魚屋・仲買等の声を聞く機会を設けると良い。(鮮魚屋・仲買等)30~40代中心に。
市民が利用したくなる場所でない、外からの人は来ない。
市内には農産品も多くある。
農産物の市的なこともあれば良い。
スーパーとの差別化できる販売施設があればうれしい。
道の駅との役割分担
小売り、飲食業者が利用しやすい施設。
関係者からの意見を取り入れる。
若者の意見が必要(県大生・市内3校の高校、若者サークルグループ等)
漁協の朝競り(土曜日は休み)との関係で、施設の閉館日(営業日)はどのように考えているか?
市民に親しまれる施設、市民が胸を張って紹介できる施設であることが基本。
新施設が成功するかどうかで、浜田市の産業活性化への影響は大きく、他の観光地の訪問客も増加する。
仲買人が夕方まで顧客に対応することは困難。
魚の値段が高いという悪評を解消することが第一
魅力のある場所になってほしい。
場所が不便
好天でセリの見学ができればラッキーで有難みが増すのでは。
外国人観光客も素朴な雰囲気のある石見の魚市場の見学は興味深いのでは。
輸出にも対応できるHACCP対応の市場建設を希望する。
予算、人材に限られた中で総花的な施設を作っても前回の轍を踏む。
戦力の分散、逐次投入の愚は避け、尖った施設や運営を検討されては?
プレイヤーである仲買の方達としっかり議論すべき。
浜田市が考える総合振興計画はやはり総合的すぎると思う。
浜田港を核に集荷・販売力の強化は当然と思うが、観光及び地域活性化の推進まで担うのは厳しいと思う。
人口が減少することは、全ての物事が成り立たなくなる原理が反映されていないと思う。
自慢ができる施設となったら、観光会社等へのアピールにも力を入れる。
これまでとガラッと変わった施設としてほしい。
浜田に来たらどこに行くか⇒「新施設」となるように。
他の施設との連携が大事
お客様を呼び込むような外に向けた営業が必要。
施設内に「鮮魚」「水産加工品」「その他特産品」「フードコート」が計画されているが、十分なスペースがあるのかが疑問。